

はじめに～「本資料の活用の仕方」～

A：福祉体験学習って一体何をすればいいの？

B：アイマスク体験とか車いす体験をすればいいんじゃないの？

A：でも、具体的にはどんなことをすればいいのかわからないね。

B：どこに聞けばいいのかな？前の学年の先生、異動しちゃったからなあ。

福祉体験学習を進めるにあたって、困っていることはありませんか。各校の先生方に総合的な学習の時間において福祉体験学習をより効果的に進めていただくために、学習を行う上で参考になる資料を作成しました。学習を進める上で前提となるのは、「障がい者と健常者がともに暮らしやすい街」というノーマライゼーションの考えです。福祉体験学習では、子供たちが地域には様々な立場の人が一緒に暮らしているということを理解し、福祉について考えるきっかけづくりとなることが大切であると考えています。

本DVDには、福祉体験学習の基本的な考え方、写真資料、連絡先一覧、ワークシートが入っています。写真資料は、福祉学習の導入として活用してください。いろいろな場面で、いろいろな人が困っている場面を紹介しています。場面ごとにワークシート（word版）を用意していますので、時間数や児童の実態、学校・地域の実態に応じて場面選択したり、ワークシートを加工したりしてご活用ください（「みんながくらしやすい町にするために」というテーマで調べ学習から発表まで使えるワークシートも用意しておりますので、効果的に活用してください）。

その後、実際に体験する活動を行います。疑似体験を通してお互いの「違い」を追体験することにより、自分たちが暮らす社会の在り方について考える機会とします。全ての人にとってともに暮らしやすくなる社会をつくるために、住民の一人として何ができるかという視点で、まちづくりや、人のやさしさ、支え合いなど、これからの「共生社会」の在り方について児童自らが気づき、学ぶ機会にしてください。

ぜひ、この資料を使って、自校の福祉体験学習を進めていただけたらと願っています。

2014年3月

福祉体験学習資料作成検討委員会